

大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【4】

～2017年度前期の実践から～

吉田 貴富

Contents, Textbooks and Assignments of a Course of Liberal Arts Education at University【4】

～ A case study of a course in the first semester of 2017 ～

YOSHIDA Takatomi

(Received December 21, 2017)

キーワード：大学、教養教育、美術、テキスト、宿題、ワークシート

はじめに

筆者は、大学における教養教育における美術教育のあり方について、自己の実践を省察し改善と試行錯誤を重ねてきた¹⁾。本稿では、直近の実践を振り返り、授業内容とテキスト選定、及びテキストを授業本体や宿題にどのように生かしたかについてまとめ、考察する。今回は主にテキストをどのように活用したかについて述べる。

1. テキストの選定

1-1 共通教育「A r tのA」

考察の対象とする授業は、山口大学共通教育の中で筆者が担当している「A r tのA」である。この授業は、系列で「一般教養」のうち「人文教養」「社会教養」「自然教養」「学際的教養」の中の「学際的教養」、その「学際的教養」の中に6つの分野があり、そのうちの「文化の継承と創造」の中の一科目である。筆者が単独で開講している。クォーターの授業であり、2017年度は前期クォーター2と後期クォーター4に開講され、今回考察の対象とするのは前期クォーター2の実践である。2017年度前期クォーター2開講の「A r tのA」の受講者は、最終的に試験を受けるまで受講した者が、人文学部10名、理学部2名、工学部32名、計44名であった。水曜日1・2時限。教室は共通教育4番教室。

シラバスの「概要」に以下のように記した。

【内容】2014年度までの共通教育「美術史」をベースに、さらに緩やかにさらに幅広く造形表現を概観する。絵画作品を中心とする。必ずしも通史的な扱いはしない。

「A r tのA」とは、「アート」の「ア」、「ABC」の「A」、「あいうえお」の「あ」、即ちアートの基本の「き」という意味である。

1-2 テキスト

テキストの選定の基準・条件は、前年度までと同様で以下のとおりである。

- a. 授業者が構想する授業内容に合致し利用しやすいこと
- b. 文庫本または新書本であること
- c. 価格が1000円以内であること
- d. 図版が豊富であり、可能な限りカラーで鮮明であること
- e. 出版年が比較的新しいこと

f. インターネット上などでの評価が高いこと

2017年度前期は、『名画が描く罪深き旧約聖書』（望月麻美子・三浦たまみ著、大和書房[ビジュアルだいわ文庫]、2015年3月、定価：本体740円）とした²⁾。

この本は、2016年度後期に山口大学教育学部の専門科目「美術授業実践基礎演習」（第4セメスター）のテキストとして用いたが、その時から既に「共通教育でテキストとしたい」と思っていたものである。というのも、筆者は大学の授業の中で共通教育、学部専門教育を問わず、機会を捉えて「聖書を学ぶこと（とりわけ旧約聖書）」の重要性を学生に説いてきた。西洋美術を理解する上で神話と宗教の学習は必須であるし、今や一般教養としても聖書がある程度知っておくことは重要である。筆者は授業で「ユダヤ教とキリスト教とイスラム教は兄弟あるいは従兄弟のような関係の宗教だということを知っていますか？なぜなら、これら3つの宗教はいずれも旧約聖書に基づいているからです」という説明をする。I S I L（アイシル、英：Islamic State in Iraq and the Levant〈イラク・レバントのイスラム国〉）³⁾の活動が活発になり、その脅威が大きかったここ数年は、筆者が担当するほとんどの授業でこのことを話題にしてきた。そして、今回対象とする授業の終了後であるが、2017年11月、アメリカのトランプ大統領がエルサレムをイスラエルの首都と認定すると発言して、本稿執筆時、大きな問題となっている。旧約聖書がおよそどのようなものなのかを教養の一部として知っておくことは国際理解のためにも、日本の将来を考えるためにも必須であると言える時代なのである。

この本は文庫本であり、紙質が良いため印刷が鮮明で折り癖がつきにくい。専門書ではなく一般書であるが、図版はすべてカラーで、絵画作品を中心に美術作品が92点掲載されている。

この本は美術書でもあり、旧約聖書を概観する書でもある。筆者はもちろん聖書も持っているが、大部な聖書、とりわけ新約聖書よりも大部な旧約聖書の本文すべてに目を通したことはない。この書籍は、旧約聖書全体の構成、およその内容、系図などがわかりやすく示してあり、旧約聖書のアウトラインを知ることができる。

ただ、この本が一般書であるため、タイトルも帯のフレーズも本文の一部も読者の興味を引くために意図的に刺激的なフレーズが用いられているように見える。この点については、敬虔な信者や研究者から批判があるかもしれない。しかし、中身は全体的にほぼ問題の無い、一般向けの美術書であり、旧約聖書の概説書である。

この本の巻末には西洋美術史年表が掲載されている。2014年度まで共通教育「美術史」として開講していた授業をベースにしている「A r tのA」を実践する上で、この年表は重宝する。この年表がよくできている。画家の生没年が記してあり、画家の名前の後ろにその画家の作品の掲載ページが記されている。画家は時代様式や主義に分類され、視覚的にわかりやすくレイアウトされている。同時代の主な出来事も併記されている。これらの点もこの本をテキストとした理由のひとつである。

この本では、作品のサイズが明記されている。この点も、美術の授業のテキストとして授業者が高く評価する理由のひとつである。

2. テキストの活用の仕方

授業に用いたワークシートと宿題プリントを資料1～7として文末に掲げる。サイズは、実物がA4のものをA5に縮小してある。

基本的な授業内容は前年度後期の実践とほぼ同じであるので割愛する。内容は美術であって、旧約聖書を講じるものではない。

2-1 ディスクリプション

第1回の授業のワークシートは、テキストに掲載されているピーテル・ブリューゲル（父）の2つの《バベルの塔》を比較して差異点を言葉で説明するという課題である。この学習は美術史の基本技術のひとつであるディスクリプションというスキルを応用したものである。美術鑑賞の基本は、まずは作品をじっくりと細部まで主体的にみることである。図版は小さいが、ブリューゲルのこの2作品がひとつのページに掲載されていることは、それだけでもわかりやすく読者の興味をそそるが、ここではそれをより積極的に利用した。受講生は、授業者の予想以上に細部まで見て多くの記述をした。

2-2 展覧会との関連付け

筆者の授業では、その授業の開講時期に開催されている展覧会を受講者に紹介することがある。今回の授業においては、上記ピーテル・ブリューゲル（父）の《バベルの塔》（1563年⁴⁾、油彩、板、59.9×74.6cm、ボイマンス・ファン・ブーニンゲン美術館[ロッテルダム]⁵⁾）、通称「小バベル」が2017年に来日し東京と大阪で展覧会が開催されたため⁶⁾、授業において紹介した。テキストに掲載されており授業でも取り上げた作品がその時期に日本に来ているという情報を与えるだけでも、受講者にとって美術を身近に感じるための材料が提供されるという意味があるが、帰省などの機会に会場に足を運ぶ受講生がいる可能性もあるし（それを授業者は期待している）、今回の受講生の半数以上が山口県外出身者であったことから、会場に足を運ぶ機会がある可能性はより高いと考えられた。

《バベルの塔》に関する上記の学習からの関連・発展内容として大友克洋を取り上げた。大友克洋が芸術雑誌『芸術新潮』（2017年5月号）の企画として、来日したブリューゲルの《バベルの塔》（小バベル）の内部を想像して描いたので⁷⁾、その図版を見せ、大友の代表作である『AKIRA』の漫画・アニメも紹介した。授業内容として、他のアーティスト、他の表現形式への発展である。

2-3 授業の基本的な内容との関連

テキスト選定の基準・条件として「a. 授業者が構想する授業内容に合致し利用しやすいこと」を挙げた。今回テキストとしたこの書籍には、授業者が過去にこの授業で扱ってきた言わば定番の内容と合致する以下の内容や情報が掲載されている。

(1) 画家・作品

作品の後ろに掲げるのはテキストの掲載ページである。

- ・ミケランジェロによるシステーナ礼拝堂の天井画・正面壁画。p. 41, p. 209, pp. 224-225, p. 255
- ・ミケランジェロ《ダヴィデ》p. 161
- ・ボス《快樂の園》pp. 36-37, p. 39, p. 254
- ・カラヴァッジョ《イサクの犠牲》p. 75
- ・レンブラント《ペリシテ人に目を潰されるサムソン》p. 137
- ・フェルメール《真珠の耳飾りの少女》p. 145

(2) 技法

フレスコ、テンペラ、油彩画など。

(3) 構図

この授業においては「美術の内容と形式」を扱い、「美術の形式」のひとつとして構図を取り上げる。その中で、バロック期の対角線構図をはじめレンブラントの、対角線に加えて斜めのZ構図の例として《テュルプ博士の解剖学講義》と《ペリシテ人に目を潰されるサムソン》を示すのだが、その一点《ペリシテ人に目を潰されるサムソン》がテキストに掲載されている。

2-4 宿題の内容

宿題プリントは、テキストを読んで要点を記したり、関連事項や発展事項を調べて記したりするものとなっている。その内容・観点は以下の通りである。

①旧約聖書の内容

②美術の内容

- a. 美術史における時代様式・主義：巻末年表
- b. 作家
- c. 技法：フレスコ、テンペラ、油彩など。
- d. 美術館
- e. 発展的な内容：映画など；【4】ヒッチコック、【5】北斎、【6】『十戒』

③一般教養：地名・国名・都市名など。

2-5 対話型鑑賞の教材として

筆者はアクティヴ・ラーニングのひとつである対話型鑑賞を授業に取り入れている。この授業では、第1

回の授業において、テキストp. 85掲載のウィリアム・ダイス《ヤコブとラケルの出会い》（1850年、油彩、カンヴァス、36×46cm、ロンドン・ロイヤル・アカデミー所蔵）を教材とした。受講生は、手元にテキストが無い状態で、プロジェクタによってスクリーンに投影された画像だけを見て、考えたことを発表・交流するのである。対話型鑑賞が終わってから、見た作品がテキストに掲載されていることを告げる。どのような物語が描かれていたのか、作者は誰か、タイトルは何か、などに興味を持った受講生はテキストの関連ページを読むであろう。宿題として読ませて確認させることも可能だが、今回は宿題には含めなかった。

2-6 授業におけるテキストの補足

テキストは文庫本であるため図版が小さい。また、掲載作品がその画家の代表作ではない場合もある。そこで、授業において、それらを補足した。

第2回の授業において、ボス《快樂の園》（pp. 36-37）の部分を拡大して投影し、細部を見せた。この作品の魅力は細部を見なければ伝わらない。テキスト巻末に「間近で見る名画」として、ボス《快樂の園》の部分拡大図が1枚（p. 254）とミケランジェロのシスティーナ礼拝堂の天井画のうち《アダムの創造》の部分拡大図が2枚（p. 255）掲載されている。

同じ回において、クリムトの《接吻》を紹介した。テキストにはクリムトの《アダムとイヴ》（p. 44）と《ユディット I》（p. 245）が掲載されている。《ユディット I》もクリムトの代表作であり、テキスト本文にもあるとおりの「傑作」ではあるが、クリムトの《接吻》も知っておいてもらいたいと考えた。授業者としては、「この作品（《接吻》）を見たことがあるでしょうか？テキストの作品と同じ作家によるものです」と展開したいところだが、クリムトの《接吻》はとても有名であるから大学生も日常のどこかで見たことがあるかと筆者は思っていたが、ほとんどの大学生はこの作品を見た経験が無いのである。この点からも、大学における教養教育は今後も必要であると言えるだろう。

おわりに

先に述べたとおり今回のテキストが美術書としてもよく出来ているため、この授業のテキストとして使いやすかった。

テキストは全255ページであるが、今回の授業では117ページまでしか扱えなかった。授業時間が限られているのでやむを得ない。授業では扱えなくても、テキストは受講者の手元に残る。筆者がこれまでのこの一連の論考において述べてきたとおり、大学の教養教育を終えた後にも生涯学習の観点から受講者の手元に美術に関するある程度まとまった書籍が1冊残ることは、一社会人の教養の一部として、また卒業後も美術との接点や美術の窓として大切なことであると考えられる。

ミケランジェロによるシスティーナ礼拝堂の天井画と正面壁画は周知のとおり1980年から1999年にかけて修復作業が行われた。今回のテキストはミケランジェロのシスティーナ礼拝堂の天井画について詳しく取り上げており、筆者の授業内容と合致していて使いやすいのだが、使用されている画像が修復前のものである。おそらく出版のコストと画像の使用料の事情であろう。これを書籍の魅力の問題としてのみ考えるならばこの作品については魅力半減ということになるかもしれない。しかし、この授業のテキストとしては、授業内容がこの修復のところで、受講者にまずテキスト掲載の図版を見せて、その後にプロジェクタで修復後の鮮やかな図版を見せることによって、効果的に使えるし、この方が受講者の驚きも大きいと思われる。

註

1) 吉田貴富「共通教育における美術教育に関する一考察（2） — 1996年度共通教育科目『20世紀美術と教育』の実践を通して —」山口大学教育学部研究論叢第46巻第3部、1996年

吉田貴富「抽象画理解のための授業の試み — 1996年度共通教育科目『20世紀美術と教育』における実践から —」山口大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要第8号、1997年

吉田貴富「大学における教養教育としての美術教育のあり方について（1） — インタラクティブな授業の試み —」大学美術教育学会誌第30号、1998年

吉田貴富「大学における教養教育としての美術教育の在り方について（2） — 『発問活用型』及び

『対話的ギャラリートーク型』の鑑賞活動を取り入れた美術史の授業の試み― 大学美術教育学会誌第38号、2006年

吉田貴富「大学における教養教育としての美術教育の在り方について（3） ―受講者の意見が授業内容へ及ぼす広がり―と深化―」大学美術教育学会誌第39号、2007年

吉田貴富「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【1】～2015年度前期の実践から～」山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第41号、2016年

吉田貴富「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【2】～2015年度後期の実践から～」山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第43号、2017年

吉田貴富「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【3】～2016年度後期の実践から～」山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第44号、2017年

2) この「A r tのA」で過去にテキストとして使用した書籍は以下のものである。

2015年度前期：木村泰司『名画は嘘をつく』大和書房（ビジュアルだいわ文庫）2014年11月、定価本体740円

2015年度後期：中野京子『怖い絵』角川書房（角川文庫）2013年7月、定価本体680円

2016年度後期：中野京子『怖い絵 泣く女篇』角川書房（角川文庫）2011年7月、定価本体680円

3) 「過激派組織IS＝イスラミック・ステート」「イスラム過激派組織『イスラム国』（IS=Islamic State）」あるいは「『イスラム国』を名乗る過激派組織＝ISIL（アイシル）」などの呼称がある。

4) この作品の制作年は、テキストでは1563年となっているが、1568年頃とする説や1565年とする説もある。

5) ボイマンス・ヴァン・ベーニンゲン美術館とも表記する。

6) 「ブリューゲル『バベルの塔』展」。東京会場：2017年4月18日（火）～7月2日（日）東京都美術館。
大阪会場：2017年7月18日（火）～10月15日（日）国立国際美術館。

7) NHKテレビ『日曜美術館』でも取り上げられた。

【資料1】

2017 ArtのA【1】 ワークシート

2017.6.14 (火)

★この授業時間内に書いて提出してください。
提出しなければ欠席とします。

____ 学部 学科 _____ 氏名 _____

テキスト『名画が描く罪深き旧約聖書』 p.63 に、ピーテル・ブリューゲル（父）が描いた2つの《バベルの塔》があります。
これらと比較して「蓮う点」をひとつでも多く言葉で箇条書きしなさい。
テキストに書かれていることを書いてもよい。
絵に描かれているモノ・コト、描き方、絵に関する情報、など何でも構いません。

【資料2】

2017 ArtのA【1】 宿題

2017.6.14 (火)

★このままA4でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。
名画が描く罪深き旧約聖書』～p.47

____ 学部 学科 _____ 氏名 _____

- () 内に適語を入れなさい。
- ミケランジェロの《アダムの創造》は、() 宮殿にある() 礼拝堂の天井画の一部である。この天井画は、当時の教皇() 2世の命で描いたものである。
- このテキストには、旧約聖書に出てくる名画() 点がフルカラーで掲載されている。
- 旧約聖書は() 巻の文書から成り立っている。旧約聖書は元々() 教の正典であるが、() 教と() 教の基でもある。
- 「律法の書」は、『() 記』『() 記』『() 記』『() 記』『() 記』『() 記』の5巻から成り、() 五書とも呼ばれている。
- ボスの《快樂の園》が描かれているのは三連の() 画である。技法は板に() である。この作品はマドリードにある() 美術館に所蔵されている。マドリードがある国は() である。
- ミケランジェロの《アダムの創造》もマザッチョの《楽園追放》も、技法は() である。
- アダムは、アダマからつくられた。アダマとは日本語で() の意。神は「その() に命の息を吹き入れられた」。
- デューラーは() をドイツに持ち込んだ。
- クリムトは() 世紀～() 世紀の画家であり、() 派の初代会長である。
- ジョヴァンニ・デ・パオロの《天地創造と楽園追放》の技法は、パネルに() である。この技法は、顔料を固着するためのメデイウムとして() を使用する（一 知らなければ調べなさい）。

【資料3】

2017 ArtのA【2】 宿題

2017.6.21 (水)

★このままA4でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。

『名画が描く罪深き旧約聖書』 pp.48～63

____ 学部 学科 _____ 氏名 _____

- () 内に適語を入れなさい。
- アダムとイヴの長男は()、次男は()である。
 - カラヴァッジョの影響を受けた画家たちを()と言う。
 - ウィリアム・ブレイクは(国名・通称)の画家である。彼の作品《アダムとイヴによって見つけられたアベルの肉体》(1826年頃)の技法は()である。彼は、ロイヤル・()の権威サー・ジョシユア・()と対立していた。
 - ノアは、アダムの()代目の子孫である。ノアの箱舟のサイズは、幅が()メートル、高さが()メートルであった。大雨は()日間降り続いた。ノアが二度目に放った鳩は()の葉をくわえて戻ってきた。
 - ジョン・エヴァレット・ミレイは()派の画家である。
 - ノアが酔いつぶれて自宅で裸で寝ていたところ、3人の息子(a.)、(b.)、(c.)のうちbに見られてしまった。
 - カーニヤッチは後期バロックの画家である。バロックとはおよそ()世紀を指す。
 - ブリュウーゲルが《バベルの塔》を描いた16世紀のネーデルラントは、政治的にはスペイン・()家の支持派と独立派、宗教では()と()に分かれていた。
 - ブリュウーゲルは《バベルの塔》を描く際に()をモデルにした。
 - バベルの塔が建てられたシリアは、現在の()地方である。

【資料4】

2017 ArtのA【3】 宿題

2017.6.28 (木)

★このままA4でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。

『名画が描く罪深き旧約聖書』 pp.64～77

____ 学部 学科 _____ 氏名 _____

- () 内に適語を入れなさい。
- アブラムは、ノアの長男()の子孫である。アブラムは侍女()との間に()を、妻サライとの間に()をもうけた。
 - 主がアブラムの前に現れて子孫繁栄を約束された時、アブラムは()歳、サライは()歳。その時に主はアブラムに「アブラハムと名乗りなさい」と言われた。さらに「あなたの妻サライは、名前をサライではなく、サラと呼びなさい。わたしは彼女を祝福し、彼女によってあなたに男の子を与えよう」と言われた。
 - ロトとその家族はソドムから脱出したが、ロトの妻は途中で振り返ったため()の柱にされてしまった。
 - ホルツイウス、カラヴァッジョ、ストーメル、フリーニ、レンブラントは、時代様式で言うと()期の画家である。
 - 「イサクの犠牲」とは、神への篤い信仰心を持つ(a.)に神が与えた厳しい試練の話である。aが宝物のようにかわいがっていた息子(b.)を神の生贄として差し出せというお告げを神がくだした。aがbを殺そうとした瞬間、神の使いが現れ「その子を殺してはならない」と告げ、bは一命をとりとめたのである。神も人が悪い。
 - 現在も()教徒、()教徒、()教徒は、アブラハムを「信仰者の父」と崇拜している。
 - カラヴァッジョは(国名:)の画家であり、レンブラントは(国名:)の画家である。二人とも劇的な明暗表現を得意とする。カラヴァッジョが《イサクの犠牲》を描いた時、彼は()歳であった。

★このままA3でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。

『名画が描く罪深き旧約聖書』 pp. 78～93

_____ 学部 学科 _____ 氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。

テキストに書いてなければ調べなさい。
漢字語はできるだけ漢字で書くこと。

■アルフレッド・ヒッチコックの映画のタイトル『レベッカ』(1940年)、バンド名「レベッカ」。これらは旧約聖書に出てくる人名()の英語読みである。

■アブラハムの息子。兄が()で、弟が()である。

■ホーファールト・フリリングは()の弟子である。

■血縁関係の話。ラバンはリベカの()である。したがって、レアとラケルはヤコブの()である。

■ヤコブは()と結婚したかったのに、はじめ()と結婚させられた。

■ウィリアム・ダイスは()派の画家である。ダイスの《ヤコブとラケルの出会い》(1850年)は、図版を見ると50号以上の絵に見

えるが実際のサイズは()cm×()cmである。これはおよそF8号のサイズである。

■ヤコブは天使と戦って勝ち、()と名乗ることになった。

■ゴッパンが画家になったのは()歳の時である。当初は印象派の()に手ほどきを受け、印象派展にも出品していたが、やがて独自の様式を確立していった。セザンヌ、ゴッパン、ゴッパンを()派(主義)と呼ぶ。

ゴッパンが始めた強い()線の特徴とする描き方をクロワゾニスムと言う。ゴッパンも用いている。

ゴッパンの《説教のあとと幻影(ヤコブと天使の戦い)》(1888年)に描かれているヤコブと天使のポーズは()の浮世絵からパクリられているという説がある。

■イスラエルはラケルの子ども(a)を特にかわいがった。aは17歳の時に奴隷として()に売られてしまう。

aは、主人ポテイファルの妻に誘惑され、拒んで投獄されるが、()ができるという能力によって難を逃れ、出世して活躍した。

■テキストp.83の絵の作者は()である。

■テキストp.87の絵の作者は()である。

■テキストp.93の絵の作者はバルトロメ・エステバン・()である。時代様式で言うと()期のスペインの画家である。

★このままA3でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。

『名画が描く罪深き旧約聖書』 pp. 94～105

学部 _____ 学科 _____ 学号 _____ 氏名 _____

() 内に通語を入れなさい。
 テキストに書いてなければ調べなさい。
 漢字語はできるだけ漢字で書くこと。

■キリスト教は()教から派生した宗教である。これらはいずれも多神教でなく()教である。
 旧約聖書で繰り返し言われているように、これらの宗教においてはともとも神の姿をつくり出すこと即ち()が禁じられている。

■石や陶磁器(タイル)やガラスなどの小片を寄せ合わせ埋め込んで絵や模様が表す手法を()と言う。ビザンティン美術のものが有名である。

■ヨセフは([のちのイスラエル])と()の長男である。ヨセフの兄弟らが(a.)に移住してから400年近くが経ち、彼らの子孫は()になっていた。のちにファラオが脅威を感じるほど増えたヨセフの子孫たちであるが、移住した時にはわずか()名ほどであった。
 奴隷となっていたイスラエル民族をaから脱出させたのが(b.)である。
 bは、ヤコブとレアの三男()の子孫である。

■ファラオは、イスラエル人の男の子が生まれたらすべて殺せと命じた。そんな状況下でモーセは誕生し、3ヶ月間大事に育てられた後、()川の葦の茂みに置き去りにされたが、ファラオの王女に拾われ、乳母を雇って宮殿で育てられた。モーセという名は、(水の中から)「引き上げる」という意味の()に由来する。
 なんと！その乳母はモーセの()であった。

■モーセが()歳の時、神から「イスラエル人をエジプトから救い出せ」と命じられた。モーセはファラオに、イスラエル人を解放するように要求したが、ファラオは拒否しイスラエル人にさらなる重労働を課した。そこでモーセとアロンは「10の()」をもたらしした。

■エジプトからの脱出の際、エジプト軍に追われたイスラエル人をモーセは海を()で助けた。海は乾いた地に変わり、イスラエル人がそこを渡った。エジプト軍が彼らを追って海に入ったところで水が元通りに流れ込んでエジプト軍を飲み込んだ。

■モーセ一行は過酷な旅をつづけ、()山の麓にたどり着いた。その山の頂でモーセは神から()を授かった。神とイスラエルの民が契約を交わした証である。
 このことが記されているのが、モーセ五書のうちの『()記』である。

■ヴェロネーゼは()期にイタリアの()で活躍した画家である。「ヴェロネーゼ」はあだ名で、故郷の地名()に因んでいる。ヴェロネーゼの作品にも、ヴェネツィア派の特徴である鮮やかな()が見られる。
 テキスト p.105 掲載のヴェロネーゼの作品はマドリードにある()美術館の所蔵である。マドリードは()の首都である。

【資料 7】

2017 ArtのA【6】 宿題

2017.7.19 (水)

★このままA3でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。

『名画が描く罪深き旧約聖書』 pp. ~117

____ 学部 ____ 学科 ____ 氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。

テキストに書いてなければ調べなさい。

漢字語はできるだけ漢字で書くこと。

■モーセはレビの子孫である。レビの父親は()で、その父親は()で、その父親は()である。

■ウィーンは(国名)の首都である。

■ロツ・フィオレンティーノは、時代様式で言うところ()の画家である。フランスの(a.)に移り住み、後のa派の元となった。

■エジプトへの「10の罫い」の10番目の罫いを答えなさい。

■神がモーセ一行に与えた、朝に空から降ってきたパンを()と言う。

■チャールトン・ヘストン演ずるモーセが海を割るシーンで有名なハリウッド映画は『()』である。

■ブロンズイーノもミケランジェロもモーセに角を生やしている。なぜこのような間違いが起きたのか、その理由を簡潔に述べなさい。

■ブロンズイーノは、時代様式で言うところ()の画家である。その名の由来は、彼の髪の色が()色だったからとも言われている。テキスト p.113 掲載のブロンズイーノの《紅海徒歩》はフィレンツェの()宮殿の礼拝堂の装飾壁画である。技法は()の都市である。

■レンブラントは、時代様式で言うところ()の画家である。(画家名 b)の明暗法をより完成度の高いものにした。画家 b は(国名)の画家である。

■ベルリンは(国名)の首都である。

■ニースは(国名)の都市である。

■ルーヴル美術館がある都市は()である。

■フィレンツェにあるウフィツィ美術館。この建物は、フィレンツェの行政機関の事務所がもとになっている。「ウフィツィ」の名はイタリア語の Ufficio に由来するが、この語にあたる英語は()である。

■シャガールが旧約聖書に題材を求めたのは、彼が()人だからでもある。